

高槻市災害時要援護者支援システム構築業務に係る事業者選定審査基準

提案書には、最低限以下の項目を含めてください。様式が定まっているものは所定の様式で作成してください。

項番	項目	提案書等への記載内容等	主な評価指標	配点
1	事業者に関する項目	<p>システム導入実績</p> <p>提案するパッケージシステムの導入実績数（自治体数）を記載してください。導入実績のうち、人口20万人以上の市又は特別区における直近の契約を1件記載してください。その他の実績として、以下の優先順位に沿って、5件まで記載してください。</p> <p>① クラウドによるサーバ構築実績 ② 人口規模〔多い順〕 ③ 稼働（予定）時期〔新しい順〕</p> <p>「概要」欄は、プルダウン（ドロップダウンリスト）から選択してください。</p> <p>【（様式3）システム導入実績調書】</p>	システム導入実績は、本業務を履行するのに信頼に足る実績であるか。	10
	業務実施体制	<p>本業務の人員体制及び各業務工程における人員配置予定を具体的に記載してください。</p> <p>【（様式6）プロジェクト体制図】</p> <p>管理責任者及び担当技術者として配置を予定されている者の災害時要援護者（避難行動要支援者）支援に係るシステムの導入実績について、代表的なものを3件まで記載してください。「業務経歴」欄には、自治体名、導入年度、当該業務における立場等が分かるよう具体的に記載してください。</p> <p>【（様式7）プロジェクトメンバー調書】</p>	業務全体及び各業務のプロジェクト体制は適切か。本業務を確実に実施できる十分な人員体制であるか。また、管理責任者及び担当技術者等の同種業務への従事実績は、本業務の責任者や担当者として十分なものであるか。	10
2	提案システム	<p>提案するパッケージシステムの構成・機能、画面構成、操作方法等の概要を示すほか、特徴的な機能や強みについて記入してください。</p> <p>【（任意様式）提案システムの概要】</p>	関連法や国ガイドライン等の趣旨を的確に捉えたシステム構成となっており、業務効率向上や操作性等についても考慮されたシステムであるか。	20
	機能要件適合	<p>機能要件分析書に記載している機能要件と提案事業者が提案するパッケージ（ソフトウェア）機能を比較し、適合状況を以下に基づいて記載してください。</p> <p>〔適合性〕 ◎：標準機能対応 ○：代替運用 △：カスタマイズ対応 ×：対応不可 〔代替案〕（適合性において、○で回答した場合は、記入必須） 業務運用によってカスタマイズを回避できる代替案を具体的に記載してください。 〔カスタマイズによる対応方法〕（適合性において、△で回答した場合は、記入必須） カスタマイズによる対応を行う場合、パッケージシステムのバージョンアップ、パッチ適用等に影響のない方法で対応することとします。なお、本稼働までに対応を完了することを前提とします。 〔対応不可の理由〕（適合性において、×で回答した場合は、記入必須） 対応ができない場合の理由を記載してください。</p> <p>【（様式8）高槻市災害時要援護者支援システム機能要件分析書】</p>	本システムを使用した業務内容を十分に理解した上で、業務の仕様に適合した機能を付加できるよう検討できているか。	30
3	システム開発に関する項目	<p>プロジェクト計画</p> <p>各業務の作業工程ごとに、具体的な日程をガントチャート等を用いて記載してください。また、各工程における本市と提案事業者との役割分担等もわかるように記載してください。</p> <p>【（任意様式）プロジェクト計画】</p>	プロジェクト計画が適切に行われ、本業務を確実に実施できる作業工程及び日程となっているか。	10
	移行計画	<p>新システムへのデータ移行・システム切替に関する移行計画を提案してください。データ移行後の検証内容や、想定される障害等を最小化するための方策をふまえ、移行対象・移行スケジュール・移行体制・操作研修等について記載してください。</p> <p>【（任意様式）移行計画】</p>	移行に関する深い見識を有したうえで、現実的な計画が検討できているか。	10
	セキュリティ対策	<p>システムの運用面でのセキュリティ対策（脆弱性対応・ウイルス対策など）、人の運用面でのセキュリティ対策（個人情報保護・記録媒体の利用など）について記載してください。</p> <p>【（任意様式）セキュリティ対策】</p>	開発時・運用時を通して、適切なセキュリティ対策が検討できているか。	10
4	システム保守	<p>本番稼働後のシステム保守について、体制・方法等を具体的に記載してください。（標準保守サービスの内容・調査依頼・システム障害・制度改正等のバージョンアップ対応・仕様変更時のマニュアル整備など）</p> <p>【（任意様式）システム保守】</p>	保守内容が充実しており、長期的な視野でシステムを任せるに足る保守内容であるか。	20
5	見積価格に関する項目	<p>仕様書に基づき、一連のシステム構築作業に要する費用に令和7年度（令和8年2月から3月）の運用保守費を含めた金額を記載してください。</p> <p>【（様式10）見積書】</p> <p>ハードウェア・ソフトウェアの費用、システム開発における各作業工程別の費用を記載し、見積金額の積算根拠等内訳が分かるように見積明細書を作成してください。</p> <p>【（任意様式）見積明細書（システム構築）】</p> <p>令和7年度（令和8年2月～3月）をシステム保守の初年度とし、想定保守期間である5年間（令和12年度まで）の保守料総額、各年度の保守料を記載し、見積金額の積算根拠等内訳が分かるように見積明細書を作成してください。</p> <p>【（任意様式）見積明細書（運用保守）】</p>	提案内容からみて見積額は妥当なものであるか。構築費用及び保守費用は、コストパフォーマンスに優れたものであるか。	30

合計 150